



60 Years Anniversary



社会福祉法人 東平田福祉会

創立60周年記念誌



社会福祉法人 東平田福祉会



東平田福祉会は おかげ様で60周年 地域の皆様に寄り添いながら活動をしています

東平田福祉会創立60周年記念誌

CONTENTS

理事長あいさつ	03
祝辞	04
東平田福祉会のあゆみ	06
東平田保育園	08
デイサービスセンターあづま	14
あづま指定居宅介護支援事業所	16
ホームヘルプサービスあづま	17
地域包括支援センターひがし	18
特別養護老人ホームあづま・ショートステイあづま	20
スタッフ紹介	24
理事・監事及び評議員、評議員選任・解任委員会委員、苦情解決第三者委員一覧	28
案内図・事業所	29

社会福祉法人 東平田福祉会 60周年

東平田保育園 60周年
デイサービスセンターあづま 25周年
特別養護老人ホームあづま 5周年
ショートステイあづま 5周年
を迎えて

理事長 佐藤 弘



社会福祉法人東平田福祉会は、おかげさまで創立60周年を迎えることができました。季節託児所からスタートした関保育園、法人としての東平田保育園60周年、同敷地内に幼児と高齢者の交流を目的とした老人福祉施設のデイサービスセンターあづまが25周年、地域からの要望に応え旧東平田小学校跡地に建設した特別養護老人ホームあづま、併設のショートステイあづま5周年という節目にあたります。

この間、長期にわたり地域の皆様にご利用いただいております。これもご利用者様、ご家族様、地域の皆様方をはじめ、役員・評議員、職員など関係各位のご支援・ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

この地域の繁栄のために、幾多の困難を乗り越えて60年の歴史を紡いでこられた先人の方々の努力に改めて感謝申し上げるとともに、先輩の意志を受け継ぎ引き継いでいく使命の重さを感じているところであります。

当福祉会は、幼児教育と高齢者の介護サービスの提供をし、地域の福祉事業として運営をしてまいりました。特に、保育園は地域の皆様から浄財をいただき改築をしております。また、通園バス等の運行にも大きな協力を賜りました。介護サービスは、多様化する介護ニーズへの対応のため専門性、機能性を高め、利用者のニーズに対応しながら施設整備を図り、地域福祉の充実に努めてまいりました。

特に、関地区に開設している多目的交流センターは、地域のよりどころとして子育て支援サービス事業、すこやかマスターズ、東平田健康塾、すみれカフェの開催、地区的いきいき百歳体操やサロンの支援、健康づくり、居場所づくりなどに取り組んでおり、多くの皆様から喜ばれております。

当福祉会は、地域の安心・安全・健康等に重視し、社会福祉法人の役割、責務として社会貢献活動を通じ地域参加、社会参加等の関わり持ちながら、経営組織の強化と法令を遵守した健全な運営に努め、これまで以上に皆様から「信頼される福祉会」として、役職員一同精進してまいります。今後とも変わらぬご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げ、創立60周年記念のごあいさつとさせていただきます。

東平田福祉社会創立60周年によせて

酒田市長 丸 山 至 様



社会福祉法人東平田福祉社会創立60周年、誠におめでとうございます。

今から60年前と言えば1960年、戦後の荒廃した社会情勢から日本がようやく立ち直り、高度経済成長期を迎える目覚ましい発展を遂げていく時期にあたります。しかし一方では、所得格差や公害による健康被害等が社会問題化してきた時代でもありました。

そのような時代にあって、皆が寄り添い、助け合う精神から社会福祉法人を設立されたことに対して、心から敬意を表します。

保育園建設にあつては東平田地区の方々から広く寄附を募り「地元の保育園」としてその役割を果たして来られました。そして時代に合わせ設備を充実し、さらに幼児保育のみならず、高齢者に対しては「デイサービスセンターあづま」を東平田保育園の隣に建設し、現代の高齢化社会にも対応され、幼児と高齢者の「ふれあい」も積極的に行われてきたことは特筆すべきことであります。

さらに旧東平田小学校跡地には「地域密着型特別養護老人ホームあづま」を建設し、更なる高齢化社会のニーズに対応していることに敬意を表します。

ひとえに法人設立60年と言っても、事業を拡充し、今日に至るまでには順風満帆な時期のみならず、大変なご苦労があったものと容易に想像できます。それでも地域社会に貢献するという確固たる信念のもと、地域になくてはならない存在になろうとされた歴代理事長の信念こそ、今日の繁栄を築かれた尊い原動力であると言えます。

このように理事長はじめ、役員、職員及び関係者皆様の社会福祉に対する献身的な精神には敬服の念を禁じ得ません。

私ども行政の仕事は、住民に密着したサービスであるとの考え方方に立っております。特に社会福祉は市民の皆様に最も密接に結びつき、皆様の健康と日常生活に欠くことのできない分野であり、今後も「支え合うコミュニティづくり」「笑顔に満ちた生活づくり」等を重点施策として実施してまいります。

これから貴法人のますますのご発展と理事長はじめ役員及び職員の方々のご健勝とご活躍をご祈念するとともに、貴法人が培ってきた社会福祉の精神が次代へと引き継がれていくことを期待いたします。

お祝いの言葉

山形県議会議員 梶 原 宗 明 様



社会福祉法人東平田社会福祉会が、創立60周年を迎えられることを心からお慶び申し上げます。

貴福社会は、昭和35年に春・秋の農繁期託児所から始められた東平田保育園が創立60周年、平成8年に開所されたデイサービスセンターあづまが創立25周年、さらに、平成27年に開所された地域密着型特別養護老人ホームあづま及びショートステイあづまが創立5周年という節目の年を迎えられました。誠におめでとうございます。

貴福社会におかれましては、「多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう相違工夫することにより、利用者が個人の尊厳を尊重しつつ、心身ともに健やかに育成され、またはその有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援する」と定款に定めておられ、そして実践されておられますことは、地域住民だけなく多くの酒田市民も認めているところです。

長い歴史に培われた信頼と、地域住民や福祉関係者の皆様の参加・協力のもと、東平田地域のネットワークを活かし、多くの地域の皆様のご理解・ご協力をいただき、本市における地域福祉活動の中心的な役割を果たされております。近年の少子高齢化に加え、社会情勢の変化、新型コロナウィルス対応などにより福祉ニーズは多様化しております。貴法人が取り組んできた地域福祉の先駆的事業に、さらに、関係者の英知を集結され次の100年に向けて尽力を賜ることを心よりお願い申し上げます。

結びに、佐藤理事長様はじめ役職員の皆様のたゆみないご尽力に、改めて敬意を表しますとともに、貴法人のますますの発展並びに皆様方のご健勝と更なるご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

H i s t o r y



平成26年(2014)
7月 特別養護老人ホームあずま建設工事安全祈願祭
11月 酒田市より旧東平田小学校グラウンド跡地購入
(介護老人福祉施設用地)
12月 特別養護老人ホームあずま建設工事上棟式

平成22年(2010)
5月 ショートステイあずま開設(定員9名)

平成21年(2009)
5月 保育園乳児室増築工事竣工

平成19年(2007)
8月 デイサービスセンターあずま浴室改修工事竣工

平成18年(2006)
4月 指定介護予防 デイサービスセンターあずま開設(定員25名に変更)
指定介護予防 ホームヘルプサービスあずま開設
酒田市地域包括支援センターひがし開設

平成16年(2004)
4月 デイサービスセンターあずま(定員23名に変更)

平成15年(2003)
11月 デイサービスセンターあずま増築工事竣工

平成14年(2002)
3月 保育園増築工事竣工
12月 保育園開設40周年記念式典挙行



令和2年(2020)
3月 山形県から、やまと子育て・介護応援いきいき企業「優秀(ダイヤモンド)企業」の認定を受ける
4月 保育園定員削減(60名)
12月 東平田福祉会創立60周年、東平田保育園60周年、
デイサービスセンターあずま25周年、
特別養護老人ホームあずま並びにショートステイあずま5周年

平成29年(2017)
4月 デイサービスセンターあずま総合事業開設
ホームヘルプサービスあずま総合事業開設

平成28年(2016)
4月 デイサービスセンターあずま定員変更(定員27名)
8月 東平田コミュニティ振興会と法人共催「第1回東平田さくら公園夏まつり」開催
12月 役員等定数削減(理事6名以上8名以内、監事2名、評議員8名以上10名以内)

平成27年(2015)
3月 特別養護老人ホームあずま開所式及び内覧会
役員等定数削減(理事13名を10名、評議員28名を23名)
4月 特別養護老人ホームあずま開設(ユニット型個室:定員29名)
併設ショートステイあずま開設(多床室4室、個室4室:定員12名)
5月 特別養護老人ホームあずま竣工記念祝賀会
多目的交流センターあずま開設(旧ショートステイあずま跡)



東平田福祉会のあゆみ

平成13年(2001)
4月 3代理事長に佐藤弘氏就任

平成12年(2000)
4月 指定通所介護 ディサービスセンターあずま定員変更(18名)
指定居宅介護 あずま指定居宅介護支援事業所開設
6月 世代間交流スペース増築(和室・トイレ)
9月 在宅介護支援センターあずま竣工開設
12月 ホームヘルプサービスあずま開設

平成10年(1998)
3月 保育園乳児室増築工事竣工

平成9年(1997)
6月 保育園プール建設工事竣工

平成8年(1996)
1月 デイサービスセンターあずま竣工開設(定員8名)

平成7年(1995)
2月 保育園園舎全面改築工事竣工

平成2年(1990)
12月 宮内庁より事業奨励の御下賜金拝受

昭和63年(1988)
12月 保育園の園歌制定(作詞:佐々木恵子、作曲:富山光弘)

昭和60年(1985)
2月 保育園幼年消防クラブが日本防火協会より感謝状受賞

昭和58年(1983)
12月 2代理事長に阿部茂一氏就任

昭和56年(1981)
12月 保育園開設20周年記念式典挙行

昭和54年(1979)
8月 保育園増築工事竣工(定員80名に変更)

昭和48年(1973)
10月 社会福祉法人東平田福祉会設立、厚生大臣認可(定員70名)
初代理事長に伊藤重太郎氏就任
東平田保育園に名称変更

昭和43年(1968)
8月 旧小学校跡地に新園舎建設竣工

昭和37年(1962)
4月 境興野、関、横代3部落で地域保育所開設(関保育園)

昭和35年(1960)
4月 春・秋の農繁期(季節)託児所始まる



ひがしひらた保育園

Higashi Hirata Nursery School



東平田保育園
園長 池田 京子

自然に囲まれ、良い環境の中で、伸び伸びとあそぶ子どもたちと共に記念すべき60周年の年を迎え、祝福することができ、大変嬉しく思います。

昭和37年に地域保育所として関保育園が開設され、昭和48年に東平田福祉会が設立。施設名も東平田保育園と変更され、認可保育所として70名の定員でスタートしました。認可年から令和3年3月には通算して2098名の卒園生を送り出すこととなります。これもひとえに保護者の皆様はじめ関係各位のご支援ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

平成14年度に40周年を迎えた記念誌あすなろが発行されました。私はその翌年、平成15年度に園長就任となりました。あっという間の20年、よくここまでやってこれたものだと我ながら感慨無量に思います。

60年が経ったとはいえ、今も昔も、子どもたちが持っている生きる力や無限の可能性は変わりありません。その歴史の中に、多くの子どもたちの笑顔と大きな成長が刻まれているように感じます。一つひとつ小さな種がさまざまな環境に支えられて芽を出し、数えきれないほどのたくさんの栄養をもらって素晴らしい花を咲かせる…。私たち東平田保育園は、成長する子どもたちを育む豊かな土であり、時には太陽でありたいという想いで保育にあたっています。そこにある責任の重みを感じながら、いつも明るい笑顔で子どもたちを迎える保育園、また地域にとけ込んだ保育園でありたいと願っています。

今後とも東平田保育園を温かく見守り、ご指導いただきますようお願いいたします。

基本理念

東平田保育園は、
出逢うすべての人が、共に「生きる力」を育む豊かな大地

~恵まれた自然の中、私たちは土となり、一人一人の芽を育みます~

あたたかく大きな手、優しくやわらかい手、そっとさしのべる手。
一人一人が互いに認め合う、包み込まれるような温もりと信頼の中で、
私たちは、明日への向上心と前向きな心で、日々挑戦しつづけます。

元気と笑顔、豊かな心がいっぱいに広がる、輝きある未来に向かって、
小さな芽が色とりどりの花を咲かせるよう、共に歩んでいこう。



園児も先生もみんな
元気いっぱい！
広い園庭からはいつも
笑い声が聞こえてくるよ

明るく元気で
たくましい子ども

心身ともに健康で、
明るい子どもに育てる

温かく思いやりの
ある子ども

友だちと仲良くできる、
やさしい子どもに育てる

感情豊かな
子ども

自然の中で活動したり、
喜んだり、感じたこと、思ったことが
表現できる子どもに育てる

運営方針

保育園は、乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期に、その生活の大半を過ごすところであります。子どもたち一人一人のありのままを受け入れ、それぞれ安心して生活できる場としての環境作りに配慮し、さらに、園長、保育士、調理師を含めたスタッフ全員との関わりの中で子どもたちを育て、育んでいく。また、複合施設として機能の充実を図るとともに、より地域から愛され、必要とされる保育園を目指し、地域に向けての活動を積極的に行う。

- 設置主体／社会福祉法人 東平田福祉会
- 開設／昭和48年10月1日
- 敷地／5,585.91m²
- 定員／60名
- 保育短時間／8:00～16:00
- 保育標準時間／7:15～18:15
- 実施保育／乳幼児保育、延長保育、一時預り

園の概要

えがおキラキラ

ひがしひらた保育園



ほのぼの交流



やさしい心を育てます



笹まき作りに挑戦!!



おとしよりとこどもたち
ほのぼの交流



隣接するデイサービス・特養あづま訪問
おばあちゃんと一緒にうたをうたったり
踊りを踊ったり ほっこりするひととき





えか~お
あふれる
毎日



今日は
どんな
ワクワクが
あるのかな



この指
と一まーれ!

自然は友だち
心豊かな感性を育てます

見て触って
全身で感じる



ひがしひらた
ほいくえんだから
経験できる
ものがある



フキ採り

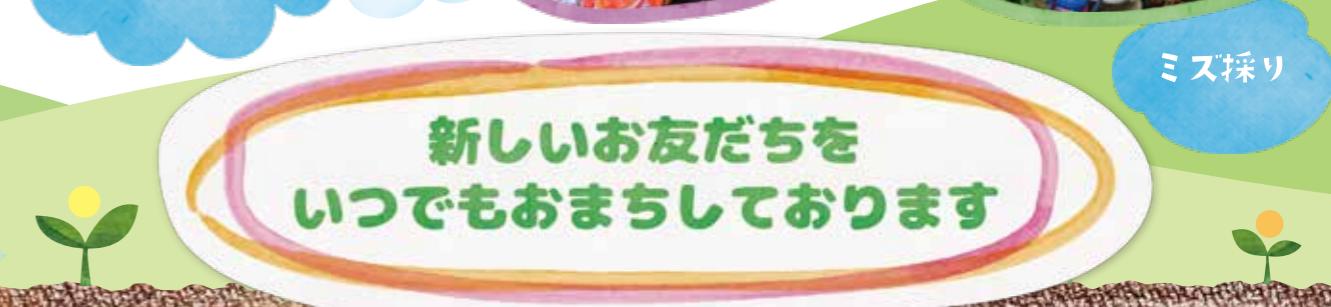


春の山菜
自分の手で
収穫



ミズ採り

新しいお友だちを
いつでもおまちしております



デイサービスセンターあづま



あづま
所長 堀 由美子

保育園と併設という恵まれた環境の中、デイサービスセンターあづまも25周年を迎えることができました。平成8年、酒田市の委託事業所として開所し、平成12年には介護保険事業所の指定を受け、地域に密着したデイサービスセンターとしてご利用者の皆様はじめ、ご家族・地域の関係者の皆様方より温かいご支援とご協力をいただきながら運営ができたことを心からお礼と感謝を申し上げます。

当福祉社会は子どもから高齢者、障害のある人ない人が共に寄り添い、支え合って地域の中で暮らせるように平成12年にはあづま指定居宅介護支援事業所、ホームヘルプサービスあづま、平成18年には地域包括支援センターひがしを酒田市の委託を受け、地域福祉の拠点としての役割を果たしています。

時代の中で求められているもの、環境の変化に柔軟に対応しながら、地域のニーズ、ご利用者様、ご家族様のご要望にできる限り応じるよう事業展開を進めてまいりました。少子高齢化社会、認知症、フレイル者の増加、介護職員不足等の課題に向け、介護予防への取り組み、住民同士の交流と生きがい、健康づくりを高めていくとともに、介護が必要な状態になった場合には迅速に適切な援助を行い、可能な限り在宅での生活でき、安心した生活が送られるよう今まで以上総合的に介護サービスの提供を職員一同精進し目指してまいります。

東平田福祉会の節目の年に一人ひとりの生活の大切さを基本として、多くの方々がさまざまな形で支え合う地域共生社会に向けて、微力ながら地域の皆様と一緒に歩んでまいりたいものと考えております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業務内容

あづまでは地域の高齢者の方々が家庭的な雰囲気の中で、健康チェック・入浴・食事・排泄・送迎・レクリエーション・機能訓練・生活全般の支援と生活指導など、一人ひとりの状態に合わせてサービス提供しております。

住み慣れた我が家で安心・安全に暮らせるよう自立支援を目的として介護予防・重度防止とご家族の負担軽減となるように力を入れております。



専用車でご自宅まで安全に送迎



ご自宅でもできるボール・タオル体操



個別機能訓練



あずま指定居宅介護支援事業所

一人ひとりの人生が豊かに自分らしく年を重ね、
安心して住み慣れた地域で過ごすことができるようにお手伝いします

当事業所には、5名（うち1名は他業務と兼務）の介護支援専門員（ケアマネジャー）がおります。要介護状態になった方でも、可能な限り住み慣れた地域で家族と共に日常生活を営むことができるよう支援していきます。ご本人・ご家族の意向を伺い、在宅の環境・個々の状態に合わせ多様なサービスの調整を図り、居宅サービス計画書を作成しケアマネジメントを提供していきます。

介護予防マネジメントにおいても、地域包括支援センターからの委託を受けて予防プランを作成します。自立支援に資する心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割を持って生活できるように支援していきます。

また、「地域包括支援センターひがし」と併設していますので、より地域との関わりを身近に感じながら業務にあたっています。困難なケースの相談も、包括や行政と連携を持ちながら対応しております。

業務内容

- 福祉サービス、施設等への紹介・説明及び在宅介護に関する総合相談
- 個々のニーズに合わせた居宅サービス計画書の作成
- 要介護認定申請等の代行
- 住宅改修、福祉用品購入などの説明、申請手続き

2025年に向け高齢化が加速していく中で、介護者や介護職員など不足していく傾向にあります。
各自、介護予防に力を入れていくことが大事です。その中で介護が必要になった時は、
私たちあずま居宅のケアマネジャーに相談してください。



地域サロンへ認知症サポーター
として自治会へ



事務所にて電話相談中



他法人と合同での研修



デイサービスあずまで面談



ケアプラン作成中

ホームヘルプサービスあずま

住み慣れた自宅で要支援、要介護の高齢者が在宅サービスを利用し、
自分らしく安心して暮らせるように訪問介護員がサポートします

業務内容

身体介護サービス

- 食事介助
- 入浴介助
- 清拭
- 排せつ介助
- 更衣介助
- 体位交換
- 移乗介助
- 歩行介助
- 安否確認 等
- 移動介助
- 内服管理

生活援助サービス

- 掃除
- 洗濯
- 食事準備
- 買い物援助 等

ご利用者、ご家族様の生活リズムやご本人の状態に合わせた支援をコミュニケーションを図りながら、お手伝いをします。

支える関係者の方々や介護支援専門員等の皆様と連携しチームケアを行います。
ぬくもりを大事にかかわり合いをしています。



シャンプーの実習



感染予防についての研修



ぬくもりと安心

地域包括支援センターひがし

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、
福祉・保健・介護・医療の総合的な窓口として、
酒田市の委託を受けて市内に10か所の地域包括支援センターを設置しています

業務内容

- 1 高齢者または家族に対する高齢者総合相談・支援(介護保険対象外のサービスの相談も行います)
- 2 地域支援事業及び介護予防給付に関する介護予防マネジメント(介護予防プランの作成やサービスの調整を含みます)
- 3 高齢者に対する虐待の防止、早期発見等の権利擁護に関する相談・支援
- 4 居宅介護支援事業所の介護支援専門員への支援

ひがしの担当エリアは東平田・中平田・北平田地区です。利用料金はありません。

歩いていけるところの居場所としてサロンやいきいき百歳体操が広がっており、自治会と共に地域で出来る健康づくりを推進しています。また、認知症や独居の方々が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、早い段階から地域の関係者と見守り体制づくりを行う会議を開催し、顔の見える関係づくりを進めています。

スキルアップ



ブロック研修



グループワーク



小地域ケア会議



居宅包括連絡会



消費生活センターの研修

支え合いの輪



すみれカフェ

介護者のつどい



思い出の会



認知症サポート養成講座



文化祭

健康づくり&生きがいづくり



東平田まめでくらそう会



東平田健康塾



健康マージャン



サークルサロン



メンズクラブ



北境サロン



すこやかマスターズ



健康塾ボランティア

地域密着型特別養護老人ホームあづま ショートステイあづま



特別養護老人ホームあづま
ショートステイあづま
施設長 佐藤 崇

開所以来、地域に開かれたご入居者様が安心して生活できる施設として、ご家族様との信頼関係の構築や地域社会との交流を続けてまいりました。地域の皆様や関係機関の皆様のご指導やご協力を得ながら、開設5周年を迎えることができたことに対し深くお礼申し上げます。

ユニットケアの特徴もあります、ご入居者様がゆったりとした時間と家庭的な雰囲気の中で、生きがいを感じながら充実した生活を送っていただけますよう、個性を尊重しながら支援に努め、満足いただけるサービス提供に取り組んでまいります。また、社会福祉法人としての公益的な取り組みも求められており、ボランティア活動や地域行事への積極的な参加も目指しております。

これからも地域の皆様に愛される施設として取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



エントランスホール

明るさと解放感そしておもてなしの心を感じて頂けるような落ち着いた雰囲気と清潔さに努めております。

地域交流スペース

季節行事やさまざまな活動に利用します。また、喫茶コーナーもあり、桜公園を見学しながら気分転換が図れます。

ショートステイあづま(短期入所生活介護)

ショートステイあづまの入所定員は、12名(個室と2人部屋)となっています。一時的にご家族の方が介護できない場合など、1泊2日から最大30日まで入所ができ、介護を提供される短期間宿泊サービスです。送迎はもちろん、ご利用中の食事、入浴、排せつなどのサービスが受けられます。



送迎サービス



食事



レクリエーション

専用の送迎車両を用意しております。

心身の状態やご家族の事情など、可能な限り柔軟に対応させていただきます。

※食事、入浴、介護、機能訓練、健康管理等は、特別養護老人ホームあづまとほぼ同じ内容となっています。

地域密着型 特別養護老人ホームあづま

特別養護老人ホームあづまは、地域密着型で入所定員は29名(個室、一部夫婦部屋)となっています。食事、入浴、排せつなど常時介護が必要で、自宅での生活が困難な方が入所できます(酒田市在住の方が対象となります)。

小規模特養と呼ばれることもある、9~10人の少人数のユニット型の特養で、家庭的な雰囲気で親密なサービスが受けられ、住み慣れた地域での生活を続けることができます。

日常生活サービス

ケアプランに基づいた介護をはじめとして、食事、入浴、排せつ、機能訓練、洗濯、理容等で日常生活を支えます。

● ケアプランの作成

地域密着型施設サービス計画の立案を行い、ご本人及びご家族の同意に基づいて作成します(年1回以上の見直し)。

● 介護

上記プランに基づいた介護を行います。(食事、入浴、排せつ、整容、移動、介助、余暇活動等)。

● 食事

季節の食材や入居者の要望を取り入れ、栄養並びに入居者の身体の状況及び嗜好を考慮した食事を提供します。

自立支援に配慮し、可能な限り離床して食堂にておどりいただきます。ただし、ご本人のご希望及び体調不良時には居室にて召し上がるこども可能です。



食事時間

● 朝食 7:30~

● 昼食 11:45~

● おやつ 15:00~

● 夕食 17:30~

● 入浴

週に最低2回は入浴していただけます。ただし、心身の状態に応じて清拭や中止させていただく場合があります。寝たきりの方でも機械浴槽で入浴できます。



入浴設備(全ユニット設置)

お体の状態にあわせて入浴が可能です。(車椅子の方も安心して入浴が可能です)また、寝たきりの方も安心して入浴できる寝台浴槽も備えております。

● 機能訓練

入居者の心身等の状況に応じた機能訓練を行い、身体能力の低下を防止するよう努めます。

リハビリ体操

職員のかけ声や音楽に合わせて腕をあげたり足踏みを行ってます。

● 健康管理

毎月2回嘱託医の回診があります。

日常的には、看護職員、管理栄養士が健康管理を行います。



・年間行事・

1月～3月



4月～6月



よもぎ団子作り

寄せ植え

7月～8月



夏まつり



七夕飾り



七夕コンサート

9月～11月



敬老会

運動会(パン食い競争)



ハロウィンパーティー

いも煮会(準備)

12月



クリスマス会

スタッフ&メッセージ

デイサービスセンターあづま

笑顔あふれる毎日を!



笑顔



調理員

おいしい昼食
栄養満点

あづま居宅介護支援事務所

「安心」をお届けします

ふれあいを
大事にします

ホームヘルプサービスあづま



地域包括支援センターひがし

地域のことなら
私たちにお任せ



あさひユニット



たかおユニット



特別養護老人ホームあづま・ショートステイあづま

特養管理部門 &法人本部

“その人らしい”人生に
よりそう介護を



おおもりユニット



医務



夜間宿直員



業務員



ショートステイ



理事・監事及び評議員

理事長 佐藤 弘

理事 梶原 満紘

櫻田 博

庄司 隆

菅沼 実

土田 良行

堀 由美子

監事 土田 一男

高田 行男

(任期:令和元年6月19日～令和3年6月)

評議員 前田 茂

莊司 秀明

加藤 真弓

池田 昭一

小松 勝

遠田 洋一

遠田 幸男

芝田 良屋

堀 伸

(任期:平成29年4月1日～令和3年6月)

評議員選任・解任委員会委員

委員長 土田 一男

委員 長沢 清

齋藤 喜一

小野寺憲治

茂木 寛治

(任期:平成29年6月15日～令和3年6月)

苦情解決第三者委員

委員 佐藤潤一郎

土田みゆき

阿部 雅弘

(任期:平成31年4月1日～令和3年3月31日)



社会福祉法人 東平田福祉会

アクセスマップ



事業所

998-0805 山形県酒田市関字向126番地の2

介護保険事業所番号

法人本部 TEL 0234-94-2800 FAX 0234-94-2801

東平田保育園 TEL 0234-94-2341 FAX 0234-94-2340

デイサービスセンターあづま TEL 0234-94-2377 FAX 0234-94-2378 0670800234

あづま指定居宅介護支援事業所 TEL 0234-94-2470 FAX 0234-94-2378 0670800119

ホームヘルプサービスあづま TEL 0234-94-2470 FAX 0234-94-2378 0670800556

酒田市地域包括支援センターひがし TEL 0234-94-2470 FAX 0234-94-2378 0600800072

998-0802 山形県酒田市生石字奥山155番1

介護保険事業所番号

地域密着型特別養護老人ホームあづま TEL 0234-94-2800 FAX 0234-94-2801 0690800339

ショートステイあづま TEL 0234-94-2800 FAX 0234-94-2801 0670801851

東平田福祉会



<https://www.east-azuma.or.jp/>





社会福祉法人東平田福祉会

事務長

編集委員代表

茂木 寛治

新型コロナウイルス感染症は世界各地で猛威を振るい、国内でも感染者が増え続け、今や第3波に入ったと言われています。こうした中で、コロナ禍における「新しい生活様式」が求められ、日常生活が激変しています。保育や介護の現場は、感染リスクが高い環境にあり、日常業務に大きな不安と緊張を強いられています。当福祉会では、検温、マスクの着用、手指消毒、ソーシャルディスタンス、県外への不要な外出の禁止など感染予防策を講じるとともに、ご利用者・ご家族の皆様の面会等も制限させていただきながらオンライン面会などの対応もしております。こうした事態が一日も早く収束するよう切に願うものです。

本年は創立60周年を迎えております。こうした節目の時に「60周年記念誌」の作成に携わることを誇りに思っております。短期間での編集でしたが、編集委員はじめ皆様のご協力を得てここに記念誌を無事発刊することができました。本誌により当福祉会の歴史の一端を感じていただければ望外の喜びであります。

これからも地域の福祉向上の一翼を担うべき法人として、地域の皆様のご期待に沿えるよう職員一同誠心誠意努力してまいります。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、お忙しい中ご寄稿いただきました皆様、そして編集・発刊に際しご指導いただきましたコスマポリタン様、(株)小松写真印刷様に厚く御礼申し上げます。

【編集委員】

堀 由美子	佐藤 崇	菅原 恵里奈	佐藤 麻衣
池田 京子	阿部 純子	兵藤 いく	本田 智子

令和2年12月吉日